

参戦団体 御中

シティプロモーション×オープンデータ利活用による
次代の市民参画活動の推進プログラム

「シビックパワーバトル 全国大会2020」

2020年1月

シビックパワーアライアンス実行委員会

サマリ

2020年10月に愛知県で開催予定の「Code for Japan SUMMIT 2020 Aichi」の期間中、「シビックパワーバトル全国大会2020」を開催します。

貴団体に参戦をしていただきたく考えております。

本イベントを通じて、

- ・有効なシティプロモーションを行うことができます。
- ・オープンデータを利活用し、データに触れ加工・編集する機会の提供します。
- ・行政と市民が協創する場を提供します。

また、本サミットは最新テクノロジーに明るい市民（シビックテック）が集まる日本最大級の会合であり、イベント内容の拡散が期待されます。

シビックパワーバトル全国大会2020

- 日時：2020年10月17日(土)14:00～16:00
※Code for Japan Summit 2020 内で開催
- 会場：なごのキャンパス 名古屋駅徒歩8分
<https://nagono-campus.jp/>
- テーマ：「暮らす」
- 発表時間 5分程度
- 観覧者 約100名（Web配信も実施予定）

参加方法

■参戦する場合

- 参戦にあたっては以下のフォームから申請を行う。
<https://forms.gle/pL9SMPLCk6LpBziu8>
- 申請可能な者は、地方公共団体または地域の団体とする。地域の団体から申請を行う際は、団体が存在する地方公共団体の関連部局からの協力を前提とする。
- 10月の本選の参加団体は10団体程度とする。10団体以上のエントリーがある場合は予選を行う。
- 本選は現地または遠隔にて5分程度のプレゼンと3分程度の質疑を行う。

■観戦の場合

- 別途、後日開設するフォームにて申請する。（Code for Japan SUMMIT）

参加方法

- 参加費用（本選に進出する場合・エントリーには費用は発生しません）
5万円／1自治体

運営のためにかかる費用に充てる予定です。

シビックパワーバトルの目的は、プロモーション人材の育成ですので「教育・研修費」の費目で予算を拠出いただくことが多いようです。

- その他の情報は公式ホームページからご覧ください。

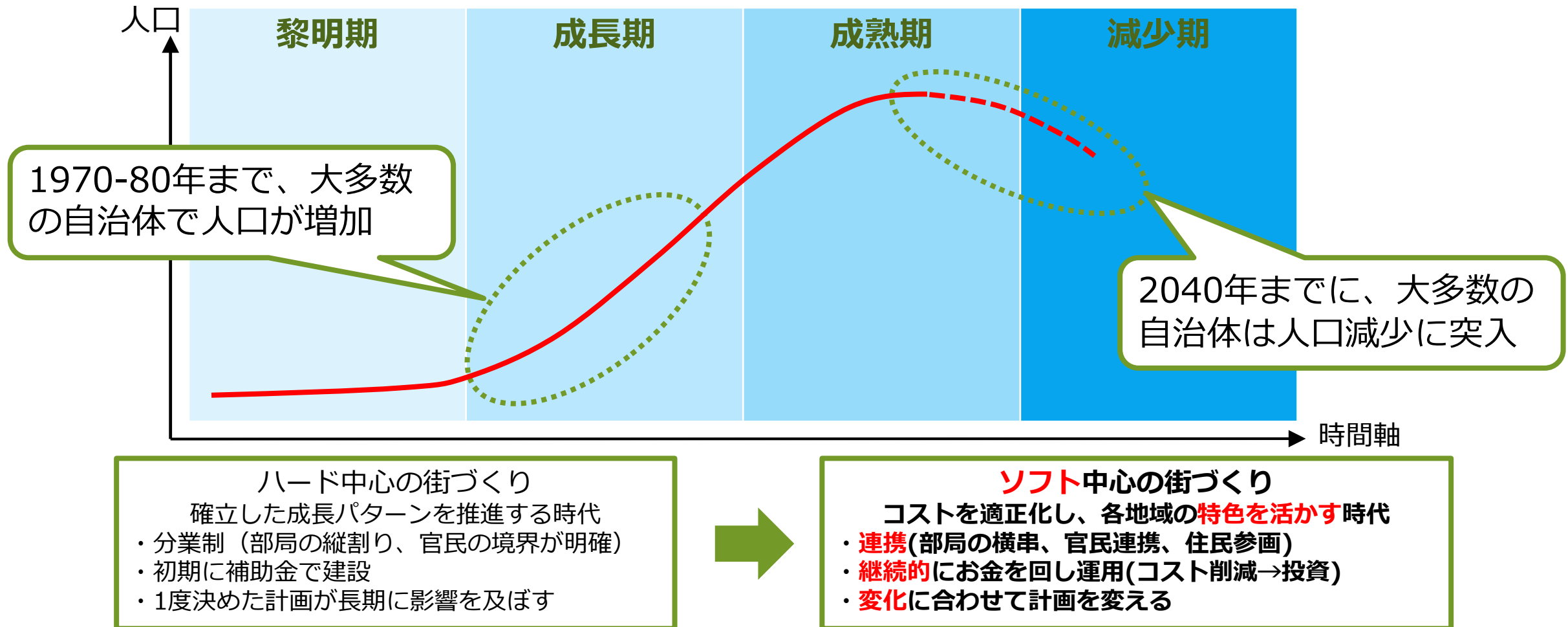
<https://www.civicpowerbattle.org/>

なぜ、シビックパワーバトルを行うか？

「シビックパワーバトル」は、シティプロモーションのためのコンテンツの発掘を行い、かつプロモーションを行う人（行政職員＋市民＋域外ファン）を育てるためのイベントです。

背景：まちづくりの転換

人口増加から人口維持・減少期に転換し、まちづくりもハード中心からソフトが重要な時代へ



背景：「関係人口」について



「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

出典：総務省「関係人口ポータル」 <http://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/>

本プログラム作成の経緯

全国の自治体では、まちの魅力を広域に発信するためにさまざまな取り組みを行っている。近年、**市民がまちを愛する気持ち（シビックプライド）**が重要だともいわれている。

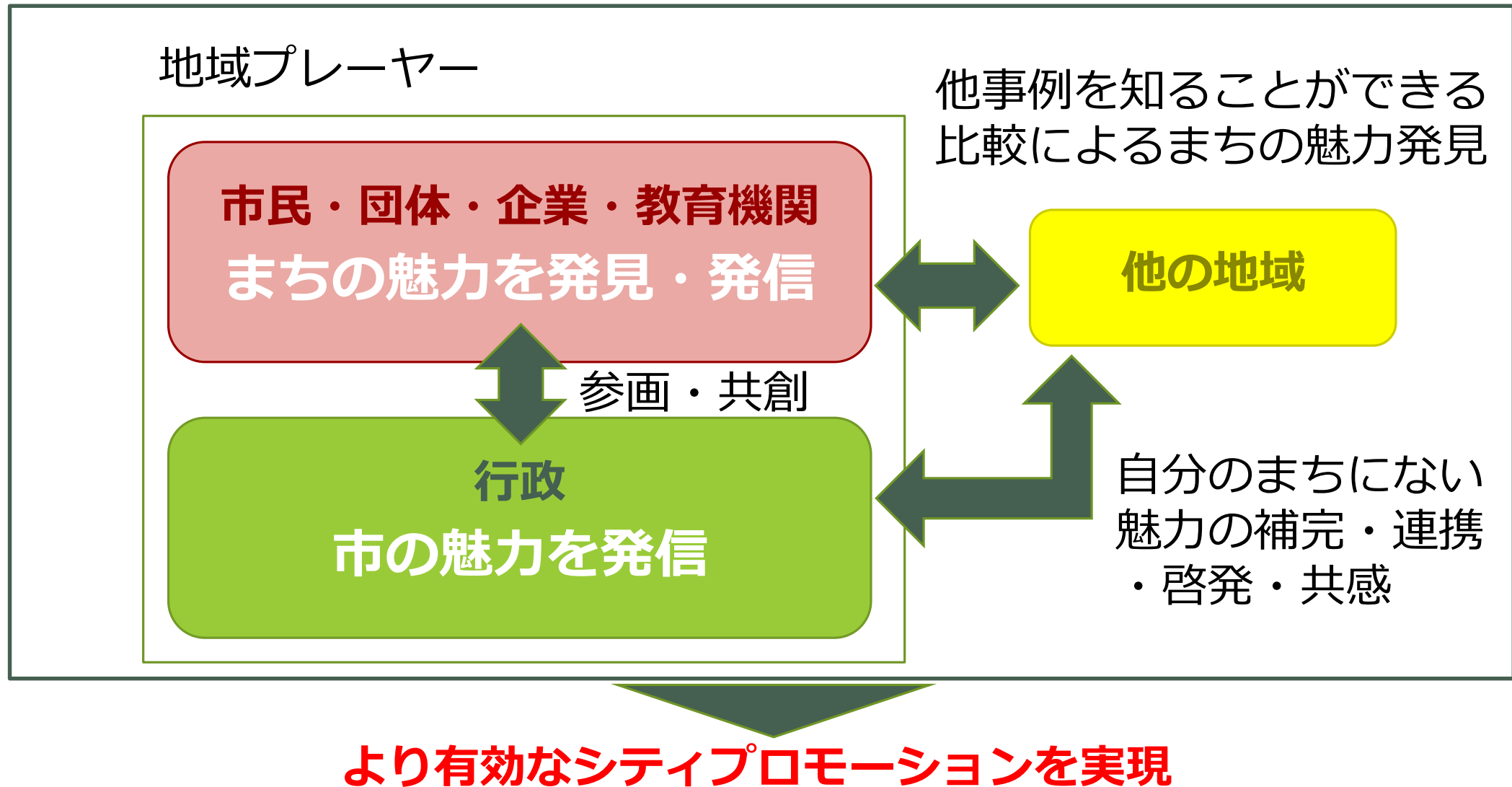
ただ現状では、各自治体でばらばらに取り組んでいたり、市民不在で自治体だけで魅力発信を進めていたり、かけるコストや労力に見合う効果が出ていないという課題もある。

そこで今まで埋もれていた、または知らなかった**まちの魅力をオープンデータを活用しながら発掘し、地域の魅力発信**につなげたい。

それを市民や団体、企業とともにいき、同様な悩みを抱える**複数自治体が集まる**ことで、あらたな魅力発信の仕組みづくりをしたい。

**住民が、自らの住むまちの魅力をプレゼンでバトルしあう
「シビックパワーバトル」**

ビジョン



シティプロモーションとは (1/2)

■「シティプロモーション自治体等連絡協議会」の定義

- ✓シティ・プロモーションは地域再生、観光振興、住民協働など様々な概念が含まれています。シティ・プロモーションの捉え方は多々ありますが、その一つは、**そこに住む地域住民の愛着度の形成**と考えます。その先には、地域の売り込みや自治体名の知名度の向上と捉えることも可能です。
- ✓さらに、**自らの地域のイメージを高め経営資源の獲得を目指す活動**と考えることもできます。このようにシティ・プロモーションの取組みは、多方面に広がっていく能動的な活動になります。
- ✓シティ・プロモーションには、自治体にはない「営業」という要素が多くあるため、民間企業等の活動から多く学ぶ要素もあります。そこで、**シティ・プロモーションに取り組もうとする自治体と、それを後方支援していく民間企業等の交流の場が必要**と考えます。

出典：<http://www.citypromotion.jp/>

シティプロモーションとは (2/2)

■河井孝仁教授（東海大学）の定義

- ✓ **地域（まち）に真剣（マジ）になる人が育つ仕組みである。**
- ✓ 地域を変えるのは、地域に関わる人々である。地域に暮らす人々が、離れていても地域を想う人々が、それぞれの場で幸せに暮らし続けるために、地域を変えていく。そのために、シティプロモーションはある。
- ✓ **「あなたは地域のために意味のある存在です。ありがとう。あなたのおかげで地域が生き生きとなり、たくさんの人が幸せになれます」と伝えることがシティプロモーションである。**

出典：<http://www.citypromotion.jp/>

こだわり

- ①単なるまちのプレゼンテーションではなく、
行政間の連携による「自治体同士の戦いの場」とする
- ②オープンデータを活用したプロモーションを前提とする
- ③行政と市民団体、企業および市民が協働し、
まちづくり共創につなげる

「オープンデータ100」に認定（政府CIOポータル）

その愛は本物か！

平成31年3月18日版

シビックパワーバトル

Byシビックパワーアライアンス実行委員会

アクティ
ビティ

オープンデータを活用し、まちの埋もれた魅力を発掘・発信。シビックプライドを醸成するプレゼンバトル。
市民や団体、企業と行政が共創し、地域のあらたな魅力を発信する仕組みづくりに繋がるイベントです。

2019年3月に認定。

“オープンデータの取組を検討する地域の皆様の参考になるよう、様々な事業者や地方公共団体等によるオープンデータの活用事例、アクティビティ（全国各地の特筆すべき継続的なイベント・プロジェクト等）を公開しています。”

政府CIOポータル・オープンデータ100
<https://cio.go.jp/opendata100>

その「愛」 は本物か？

シビックパワーバトルの準備のために (ワークショップの内容の紹介)

※ワークショップは必須ではありませんが、準備をガイドする内容になります。
もしワークショップ実施の希望がありましたらCPAまでご相談ください。

プレゼンテーションの目的

自分の住んでいる〇〇市の良いところを説明することがゴールではない。

説明をして**聴いている人の行動を変えることがゴール。**

何を変えるか。

- **〇〇市のことをもっと知りたい。調べてみたい。**
- **〇〇市に遊びに行ってみたい。**
- **〇〇市で働いてみたい。**
- **〇〇市に住んでみたい。**

プレゼンテーションの作り方（まとめ）

1. 地域の「魅力」を発掘する
2. 魅力の「要素」を整理する
3. 要素を実証するデータを探す
4. 他の地域との比較を試みる



何度も繰り返し考え、
言葉を洗練させて
いくことで、地域の
「優位性」が分かる

5. シンプルなストーリーを考える
6. プレゼンテーションにまとめる

1. 地域の「魅力」を発掘する

● テーマ「暮らす」

- ・ **誰に**にとって暮らしたい（暮らしやすい）のか？

子どもが、女性が、男性が、学生が、シニアが・・・

→特定層に絞ってもOK！

- ・ **どう**暮らしたい（暮らしやすい）のか？

安全に暮らす、楽しく暮らす、気持ちよく暮らす・・・

1. 地域の「魅力」を発掘する

- ・ 付箋紙に「地域の魅力」を書き出す
できるだけたくさん！ ※この時点はデータは見ずに、推測でOK
- ・ 書けたら、グループで共有してみましよう
 - －話すときは、コンパクトに
 - －聞くときは、否定せず、最後までうなずきながら
- ・ 似たものをまとめてみましょう

気候が良い

学校が多い

景色が良い

工業が盛ん

人がやさしい

食べ物がおいしい

福祉が充実

スポーツが盛ん

環境が良い

土地が安い

2.魅力の「要素」を整理する

- ・多く得票した「魅力」と「暮らす／暮らしたい」を線で繋いでみます

(1)その魅力は「暮らす／暮らしたい」になる理由になっているか？

→同じ「魅力」同士の粒感は、そろっているか？

→いくつかの「魅力」は、まとめられないか？

→もっと別の言い方があるのでは？ ※言葉は書き換えてOK！

(2)その魅力はなぜこの地域で生まれたのでしょうか？

→地理的環境、歴史的経緯、文化的背景は、等…

(3)魅力をより強く感じそうなのは、誰ですか？

→働き手、子育て世代、シニア層、若者、女性？特定の誰か？

高校生に
って

暮らす / 暮らしたくなる

人口。昼間人口が多い。

気候

一 年較差が小さい

食べ物

- 一 魚、水産物。
- 一 米、とり、うずらの生産・加工。

景色

- 一 受賞歴、観光客
- 一 金でいうと、
- 一 地球の
- 一 観光客、空車の数。

工業

- い 茨城、三重
- 一 鉄鋼生産。
- 一 人当たり？

福祉

- 一 病院数
- 一 福祉施設。
- 一 給与水準の高さ。
- 新日鉄病院、日鋼病院、日産病院

緯度、太平洋岸、自然の港

気候が

年較差が小さいから

暮らしたくなる

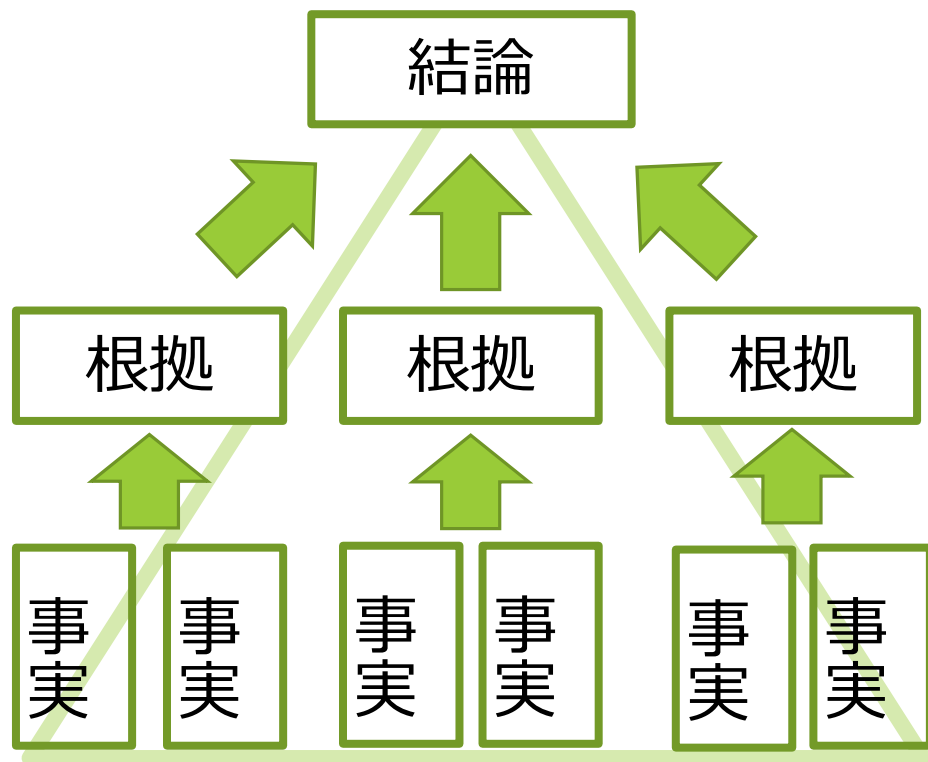
景色が

良い場所が多いから

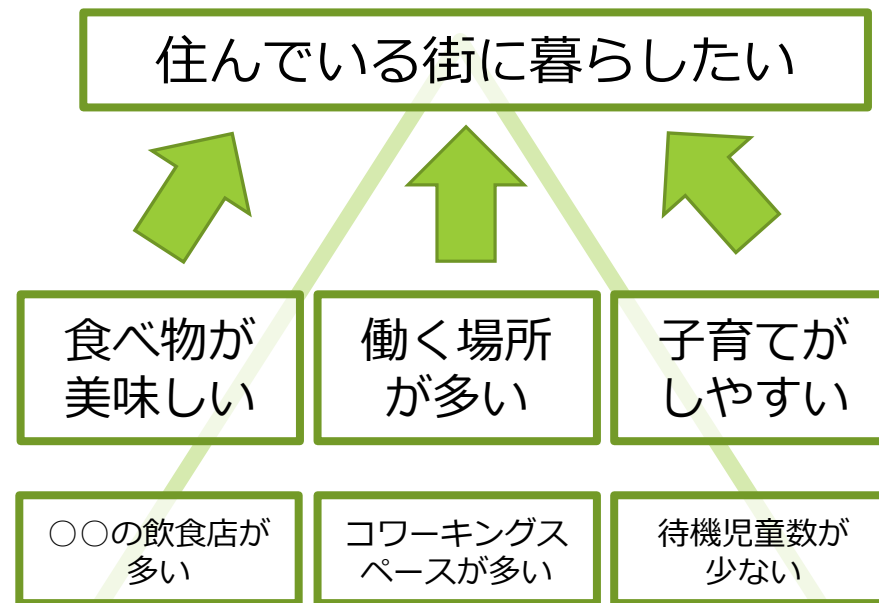
暮らしたくなる

【参考】ピラミッドストラクチャー

わかりやすいプレゼンテーションをするために



「だから」「である」で確認する



- ・ 食べ物が美味しいから、この街に暮らしたい
- ・ 働く場所が多いから、この街に暮らしたい
- ・ 子育てがしやすいから、この街に暮らしたい

3. 仮説を実証するデータを探す

- ・「魅力」を客観的な数字で表現できないか？
- ・使えそうなオープンデータはないか？

<ポイント>

- ・先入観を捨てて、数字だけに着目
- ・まちの特性がわかるざっくりデータで
- ・時系列・比率など、いろいろな切り口で
(例：人口1人あたり * * 等)
- ・狭い地域／ニッチな視点でも

4. 他の地域との比較をしてみる

- ・ **他の地域と比べて優位性**がありますか？

⇒他地域の同じデータをとってみましょう

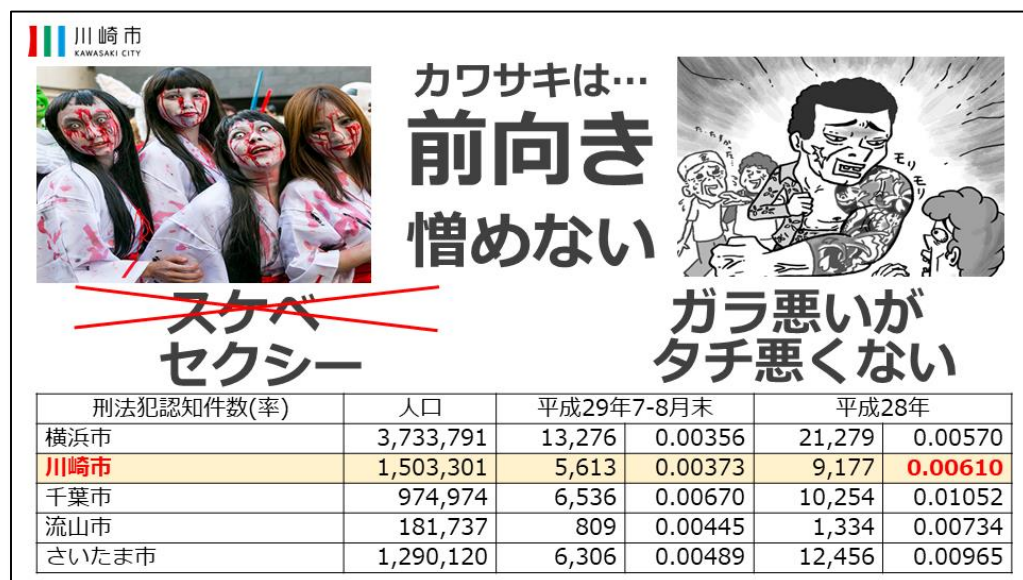
日本一がいいが…バトルの相手よりは優位性があればOK
マイナスイメージがあっても **「意外と悪くない」** という
戦い方もあり

【参考】意外と悪くない（例）

（川崎市）風俗とかギャンブルとか、治安はよくないのでは？



刑法犯認知率は高くない！



（流山市）大人が遊ぶ場所なんてないんじゃないの？



市内になくても、近隣市にある！

補足資料

実はいろいろ
近いんですよ、流山

ジャンル	名称	流山からの所要時間(電車)
遊ぶところ	東京ディズニーリゾート	30分
	東京スカイツリー	23分
	横浜中華街	1時間
スポーツ施設	ZOZOマリンスタジアム	31分
	東京ドーム	37分
	柏サッカースタジアム	16分
	埼玉スタジアム	27分
空港	成田空港	53分
	羽田空港	1時間14分
ショッピング	IKEA	5分
	ららぽーと柏の葉	6分
	コストコ	5分

5. シンプルなストーリーを考える

- ・ そのまちのことを「暮らしたい」と思って欲しいのは誰？
 - ー 具体的な「人」をイメージして、語るつもりで
- ・ 大事な「魅力」をコンパクトに伝える。
 - ー はじめに「魅力」を説明し表現するデータを簡潔に
- ・ 最後に、締め言葉を

6. プレゼンテーションにまとめる

- ・最初にタイトルと自己紹介
- ・イメージしてもらいやすいように、図、グラフ、表、写真などを活用しましょう
- ・スライドはプロジェクターで映写されるものなので、情報を詰め込みすぎない
- ・時間内に印象に残る話し方を練習しよう
(声の抑揚も大事)

審査基準の例（標準的な基準）

各参加自治体は、他地域の団体のプレゼン動画について、以下の観点で評価を実施

項目	審査項目
全体の構成	資料の見栄え、わかりやすさ、デザイン性が優れているか。
	プレゼンの最後まで飽きずに視聴することができるか。
発想力・独創性	発表者ならではの視点が盛り込まれているか。
	他の発表者と比べてオリジナリティがあるか。
オープンデータの活用	オープンデータが使われていることが明確になっているか。
	オープンデータが活用されることで客観性が伝わってくるか。
シビックパワー (プレゼンスキル)	発表者から地元の「まち」への愛や熱意が伝わってくるか。
	市民及び自治体関係者等のシビックプライド向上に寄与するものか。

その「愛」
は本物か？

運営組織について

(シビックパワーアライアンス実行委員会)

シビックパワーアライアンス実行委員会（CPA）とは

- ・「シビックパワーバトル」を全国に広げ、円滑な運営の支援、クオリティ確保、ブランディングを推進する
- ・第1回シビックパワーバトルの事務局を務めたメンバーが中心に構成

メンバー紹介



河尻 和佳子 (かわじり わかこ)

- ◆CPA実行委員長
- ◆千葉県流山市役所
マーケティング課長
- ◆好きなもの：納豆
- ◆特技：マルチタスクを同時進行
- ◆苦手：初めての場所に行くこと



土屋 俊博 (つちや としひろ)

- ◆CPA実行委員会メンバー
- ◆日本電気株式会社 (NEC) 勤務
(現在、内閣府へ出向中)
- ◆Code for NAGAREYAMAメンバー
- ◆Civic Tech Zen Chiba事務局
- ◆長野県小諸市出身
- ◆資格：中小企業診断士
- ◆趣味：打楽器演奏



井上 貢 (いのうえ みつぐ)

- ◆CPA実行委員会メンバー
- ◆ヤフー株式会社勤務
- ◆UDC2017OG推進協議会金賞受賞
- ◆岐阜県高山市出身
- ◆特技：半田付け、テレビ修理
- ◆趣味：卓球、読書



牛島 清豪 (うしじま せいごう)

- ◆CPA実行委員会メンバー
- ◆特定非営利活動法人NetComさが 理事長
- ◆奥球磨スマートタウン研究所 理事
- ◆Code for Saga 代表
- ◆九州テレコム振興センター 主任研究員
- ◆株式会社ローカルメディアラボ 代表取締役



小俣 博司 (おまた ひろし)

- ◆CPA実行委員会メンバー
- ◆東京大学生産技術研究所 特任研究員
- ◆オープン川崎/Code for Kawasaki 主宰
- ◆一般社団法人シビックテックジャパン 理事
- ◆神奈川県川崎市出身
- ◆エンジニア、デベロッパー
- ◆得意分野：シビックテック、地理空間情報、
オープンデータ関連、業界の昔話

★シビックパワーバトルの開催計画や過去の開催事例が掲載されています。

★開催希望の自治体がありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

シビックパワーバトル公式ページ
<https://www.civicpowerbattle.org/>



Civic Power Battle
その愛は本物か！
Produced by Civic Power Alliance 実行委員会

「シビックパワーバトル」とは
各自治体では、まちの魅力を発信するためにさまざまな取り組みを行っています。また、近年では市民がまちを愛する気持ち（シビックプライド）が、まちの継続的な発展には重要だといわれています。
「シビックパワーバトル」は、主にオープンデータを活用し、今まで埋もれていた、または知らなかったまちの魅力を発掘し、地域の魅力発信を目的としたイベントです。
市民や団体、企業にくわえて行政がバトルのために協力しあう*ことで、あらたな魅力発信の仕組みづくりに繋がっていきます。

その「愛」
は本物か？

付録（実施例）

第1回シビックパワーバトル@ LODGE（東京）



- 日時
2017年9月23日（土・祝）13:00~17:00
- 場所
LODGE（ヤフー株式会社）
- 主催
シビックパワーバトル実行委員会
（本イベントの趣旨に賛同する市民、団体、企業などで組織）
- 後援・協力
総務省、参加自治体（流山市、横浜市、さいたま市、千葉県、川崎市）
- 協賛
ヤフー株式会社
- テーマ
「遊ぶ」「働く」「住む」

<https://www.civicpowerbattle.org/cpbtokyo2017/>

シビックパワーバトル千葉市6区対抗戦 in IODD2018



- 日時：2018年3月3日（土）10:00 - 17:30
- 出場区：稲毛区、花見川区、中央区、緑区、美浜区、若葉区の6区対抗
- 各区共通のテーマ：「住む」
- 自由テーマ：「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「育てる」「老いる」から選択



場所：きぼーる 1F アトリウム

（千葉県千葉市中央区中央4-5-1）

主催：シビックパワーバトル 千葉市6区対抗戦実行委員会

後援：千葉市

共催：NPO法人 Code for Chiba / ペんぎん不動産 / ちば〇〇部

協力：株式会社omegane

/シビックパワーアライアンス実行委員会

<https://www.civicpowerbattle.org/cpb-chiba2018iodd/>

シビックパワーバトル大坂夏の陣（大阪市）



- 日時：2018年8月25日（土）13:00～17:00
- 参加都市：尼崎市、生駒市、京都市左京区、神戸市、枚方市（五十音順）
- 場所：ヤフー株式会社 大阪グランフロントオフィス
- 主催：シビックパワーバトル大坂夏の陣実行委員会
- 共催：ヤフー株式会社
- 協力：シビックパワーアライアンス実行委員会
- 後援：総務省
- バトルテーマ
共通テーマ「暮らす」
自由選択テーマ「かがやく、つながる、おもしろい」から1つ選択

<https://www.civicpowerbattle.org/cpbosakanatsunojin2018>

シビックパワーバトル オープンガバメント推進協議会 2018（浜松市）



- 日時：2018/10/26（金）公開シンポジウム内
- 参加都市：大津市、郡山市、武雄市、千葉市、奈良市、日南市、浜松市、福岡市、三重県、室蘭市（五十音順）
- 場所：浜松グランドホテル（決勝）、オンラインにて実施（予選）
- 主催：オープンガバメント推進協議会
- 協力：シビックパワーアライアンス実行委員会
- バトルテーマ：「住む」
- プレゼン方法
予選：動画（3分）、決勝（5分）

<https://www.civicpowerbattle.org/ogkyogikai2018/>

川崎シビックパワーバトル2018（川崎市）



- 日時：2019年2月2日（土） 13:00～15:00
- 参加都市：川崎市の南北の地域で対決
- 場所：JR川崎駅（アトレ川崎4階）エントランス広場「コモレビテラス」
- 主催：オープン川崎/Code for Kawasaki
- 共催：シンジヨーまちなカレッジ 他
- バトルテーマ：カワサキキタチーム「働く」、カワサキミナミチーム「住む」

南北チーム毎に5分/回のプレゼンを3回、合計6回の発表

<https://cpb.openkawasaki.org/>



シビックパワーバトル どまんなか愛知2019（名古屋市）



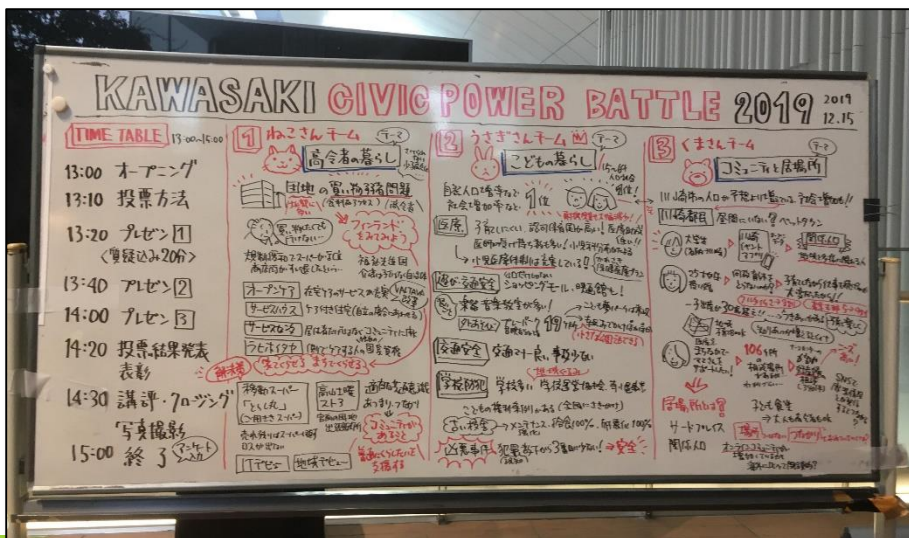
- 日時：2019年12月14日（土）13:00～17:00
- 参加都市：春日井市、日進市、半田市（五十音順）
- 場所：ヤフー株式会社 名古屋オフィス
- 主催：シビックパワーバトルどまんなか愛知実行委員会
- 協賛：ヤフー株式会社
- 協力：JRあいち尾東、春日井製菓、ソフトバンク、パナソニックエコシステム、マスプロ電工、シビックパワーアライアンス実行委員会
- 後援：総務省、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部
- バトルテーマ
共通テーマ「女性の活躍」
自由選択テーマ「住みやすさ、あそび、働く」から1つ選択

<https://www.civicpowerbattle.org/cpbtokaidomannaka>

川崎シビックパワーバトル2019（川崎市）



- 日時：2019年12月15日（日）13:00～15:00
- 発表者：テーマ別に各チームが川崎の魅力や課題についてプレゼン形式で対決
- 場所：JR川崎駅（アトレ川崎4階）エントランス広場「コモレビテラス」
- 主催：オープン川崎/Code for Kawasaki
- 協力：シンジヨーまちなカレッジ 他
- バトルテーマ：ねこさん「高齢者の暮らし」、うさぎさん「子どもの暮らし」、くまさん「コミュニティと居場所」をプレゼン形式で対決



<https://cpb.openkawasaki.org/>

シビックパワーバトル オープンガバメント推進協議会 2019（千葉市）



- 日時：2020年1月19日（日）公開シンポジウム内
- 参加都市：大津市、郡山市、武雄市、千葉市、奈良市、日南市、浜松市、福岡市、三重県&桑名市、室蘭市（五十音順）
- 場所：ホテルグリーンタワー幕張（決勝）、オンラインにて実施（予選）
- 主催：オープンガバメント推進協議会
- 協力：シビックパワーアライアンス実行委員会
- バトルテーマ：「わたしの好きな〇〇市」
- プレゼン方法
予選：動画（3分）、決勝（5分）

<https://www.civicpowerbattle.org/ogkyogikai2019/>

(予定) シビックパワーバトル オープンガバメント SENA2019 (浜松市)

シビックパワーバトル SENA2020

SENA (三遠南信地域連携ビジョン推進会議)
三遠南信 (さんえんなんしん) とは
愛知県東部の東三河 (ひがしみかわ) 地域を「三」、
静岡県西部の遠州 (えんしゅう) 地域を「遠」、
長野県南部の南信州 (みなみしんしゅう) 地域を「南信」
とした、三県にまたがる地域です。

⇒ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 SENA

⇒ オープンデータポータルサイト (三遠南信地域連携ビジョン推進会議)

- 日時：2020年2月6日（木）
- 参加都市：飯田市、駒ヶ根市、田原市、豊橋市、浜松市、袋井市（五十音順）
- 場所：浜松市地域情報センター
- 主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）
- 協力：シビックパワーアライアンス実行委員会
- バトルテーマ：「わたしの好きな〇〇市」
- プレゼン方法：「東三河」「遠州」「南信州」の各地域2団体ずつの計6団体により、住民と行政が協創し自ら住むまちの魅力をオープンデータを用いて根拠に基づいたプロモーションを行います。

<https://www.civicpowerbattle.org/sena2020>

これまでに参戦した都市（順不同）

◆関東大会 5チーム

流山市、横浜市、さいたま市、千葉市、川崎市

◆大坂夏の陣 5チーム

生駒市（優勝）、枚方市（準優勝）、尼崎市、神戸市、京都市左京区

◆どまんなか愛知 3チーム

半田市（優勝）、春日井市、日進市

◆オープンガバメント推進協議会 10チーム

室蘭市（優勝）、浜松市（準優勝）、千葉市、奈良市、福岡市、
大津市、郡山市、三重県・桑名市、武雄市、日南市

◆三遠南信（SENA） 6チーム（予定）

浜松市、豊橋市、飯田市、田原市、駒ヶ根市、袋井市

その「愛」は
本物か？

シビックパワーアライアンス

オープンガバメント推進協議会2019

civic.power.battle@googlegroups.com

担当：河尻、土屋、井上